在宅医療・介護連携推進協議会	協議資料
令和元年 8 月 23 日	
市役所 208.209 会議室	

平成 31 年度 第 2 回
立川市在宅医療・介護連携推進協議会
協 議 資 料

令和元年 8 月 23 日 (金)

立川市 福祉保健部 高齢福祉課

報告事項①

立川市看取り支援講演会(市民向け・専門職向け)																																																						
目的	地域包括支援センターが行う講演会等を通じて、高齢者及びその家族が、高齢者本人が幸せな人生であったと思えるような最期をどのように迎えたらいのか考えてもらうきっかけづくり、ならびに介護に関わる専門職が看取りに対する知識や技術を身につけることを目的とする。																																																					
方法	<p>① 市民向け講演会等(各地域包括圏域 年間2回ずつ) 対象者:市民とその家族、地域の医療介護関係者 内容 :看取り医療の経験のある医師による講演会等 各会においてエンディングノートの無料配布と記載説明</p> <p>② 介護支援専門員等専門職研修(各地域包括圏域 年間1回ずつ) 対象者:地域で看取り医療・介護にかかわる専門職 内容 :看取り医療の経験のある医師による研修、 接遇に関する研修と意見交換会</p>																																																					
看取り支援講演会開催実績	<p>①市民向け 看取り支援講演会 9回実施済</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日程</th> <th>サブタイトル</th> <th>講師</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>5/22</td> <td>あなたは大切な人に何を遺しますか</td> <td>医師</td> <td>総合福祉センター</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>5/25</td> <td>迷惑かけない生き方(逝き方)設計</td> <td>医師</td> <td>上砂会館</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>5/31</td> <td>在宅看取りはこわくない</td> <td>医師</td> <td>たましんリスルホール</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>6/3</td> <td>映画「ぼけますからよろしくお願いします」</td> <td>映画</td> <td>若葉会館</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>6/3</td> <td>同上</td> <td>映画</td> <td>幸学習館</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6/4</td> <td>同上</td> <td>映画</td> <td>若葉町団地東集会場</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>6/15</td> <td>みんなで学ぶ幸せな死に方 ～からだ編</td> <td>医師</td> <td>立川相互病院</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>7/4</td> <td>自分らしい最期を迎えるための終活 ～医療編</td> <td>医師</td> <td>こぶし会館</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>7/22</td> <td>みんなで学ぶ幸せな死に方 ～こころ編</td> <td>僧侶</td> <td>アイムホール</td> </tr> </tbody> </table>					日程	サブタイトル	講師	会場	1	5/22	あなたは大切な人に何を遺しますか	医師	総合福祉センター	2	5/25	迷惑かけない生き方(逝き方)設計	医師	上砂会館	3	5/31	在宅看取りはこわくない	医師	たましんリスルホール	4	6/3	映画「ぼけますからよろしくお願いします」	映画	若葉会館	5	6/3	同上	映画	幸学習館	6	6/4	同上	映画	若葉町団地東集会場	7	6/15	みんなで学ぶ幸せな死に方 ～からだ編	医師	立川相互病院	8	7/4	自分らしい最期を迎えるための終活 ～医療編	医師	こぶし会館	9	7/22	みんなで学ぶ幸せな死に方 ～こころ編	僧侶	アイムホール
	日程	サブタイトル	講師	会場																																																		
1	5/22	あなたは大切な人に何を遺しますか	医師	総合福祉センター																																																		
2	5/25	迷惑かけない生き方(逝き方)設計	医師	上砂会館																																																		
3	5/31	在宅看取りはこわくない	医師	たましんリスルホール																																																		
4	6/3	映画「ぼけますからよろしくお願いします」	映画	若葉会館																																																		
5	6/3	同上	映画	幸学習館																																																		
6	6/4	同上	映画	若葉町団地東集会場																																																		
7	6/15	みんなで学ぶ幸せな死に方 ～からだ編	医師	立川相互病院																																																		
8	7/4	自分らしい最期を迎えるための終活 ～医療編	医師	こぶし会館																																																		
9	7/22	みんなで学ぶ幸せな死に方 ～こころ編	僧侶	アイムホール																																																		

看取り支援講演会 今後の予定

- 10、令和元年 9 月 27 日(金) 14 時～15 時 30 分 若葉会館
〈看取ることによって手渡される命のバトン〉 看取り士 清水直美氏
＞わかば地域包括支援センター 申込制 60 名
- 11、令和元年 9 月 28 日(土) 13 時～16 時 西砂小学校体育館
〈私の人生会議 ～看取りで得るもの～ 上映会 いきたひ～看取り・命のバトン～〉
講演会 長谷川監督
＞かみすな地域包括支援センター 申込制 200 名
- 12、令和元年 10 月 10 日(木) 14 時～16 時 幸学習館
〈自分らしい最期を迎えるための終活 ～相続(争族対策)編〉
(株)セレモア 相続診断士 依田 光弘 氏
＞さいわい地域包括支援センター 申込制 120 名
- 13、令和元年 10 月 23 日(水) 14 時～16 時 たましんリスルホール
〈暮らしの中で看取るとは〉
白十字訪問看護ステーション 代表取締役 秋山 正子 看護師
＞はごろも地域包括支援センター 申込制 200 名
- 14、令和元年 11 月 12 日(火) 13 時 30 分～ 18 時 30 分～ 総合福祉センター
〈ピア まちをつなぐもの〉 映画上映会
＞ふじみ地域包括支援センター 申込制 各 50 名
- 15、令和元年 11 月 20 日(水) 10 時～12 時 総合福祉センター
〈健康に生きるための口腔ケア〉
若葉町デンタルクリニック 院長 金井 克樹 歯科医師
＞ふじみ地域包括支援センター 申込制 100 名
- 16、令和元年 12 月 4 日(水) 13 時 30 分～15 時 30 分 幸学習館
〈後悔しない最期の迎え方 ～死に方のトリセツ～〉
立川在宅ケアクリニック 理事長 井尾 和雄 医師
＞わかば地域包括支援センター 申込制 120 名

②介護支援専門員等専門職研修 (実施時期は調整中・1 回 2 時間程度)

立川市内のケアマネが「看取り」を正しく理解できることを目的に開催

- ・小地域ケア会議開催(30 分間)
- ・医師からの看取りに関する説明(30 分間)(市内 6 か所で開催)
「人間の最期ってどうなるの?」「どの段階が看取りの段階?」
- ・接遇研修(30 分間)(市内 3 か所で開催)
「今、看取りを実践している家族に対する支援者の接遇とは?」
- ・質疑応答・意見交換(20 分間)

報告事項②

医療と介護の連携強化に関する介護支援専門員研修事業 (平成 30 年度開始 3 年間連続実施予定の 2 年目)																	
目的	介護支援専門員に義務づけられた、利用者に関して医療職と共有すべき情報（訪問介護事業所等から伝達された情報・介護支援専門員自身が把握した情報）について講義研修・現場研修を通して学ぶ機会を得る																
対象者	立川市内の居宅介護支援事業所に所属する介護支援専門員 立川市内の地域包括支援センターに所属する介護支援専門員等																
内容	<p>■講義研修 5 回予定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日時</th> <th>曜日</th> <th>項目</th> <th>内容</th> <th>会場</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>2019/10 月 ～2020/3 月</td> <td>(水)夜 予定</td> <td>講義研修</td> <td>医療職(4 名)とケアマネ との オープンディスカッション</td> <td>立川市 医師会館 3 階</td> </tr> </tbody> </table> <p>■現場研修 12 回予定 災害医療センター、立川病院、立川相互病院 ふれあい相互病院、立川在宅ケアクリニック、 さいわいこどもクリニック、@(あつと)訪問看護ステーション ケアセブン訪問看護リハビリテーション砂川十番、 にしき訪問看護ステーション、若葉町デンタルクリニック はる薬局、榎本調剤薬局など(参考:平成 30 年度研修協力機関)</p>						日時	曜日	項目	内容	会場		2019/10 月 ～2020/3 月	(水)夜 予定	講義研修	医療職(4 名)とケアマネ との オープンディスカッション	立川市 医師会館 3 階
	日時	曜日	項目	内容	会場												
	2019/10 月 ～2020/3 月	(水)夜 予定	講義研修	医療職(4 名)とケアマネ との オープンディスカッション	立川市 医師会館 3 階												
実施	立川市・立川市医師会 (立川市医師会への委託事業)																

報告事項③

立川市 医療介護連携推進多職種研修	
目的	多職種での連携の実態を把握し、深い信頼関係を築いて、課題の解決に向けて取り組む機会をもつ
日時	①{シンポジウム形式} 令和2年1月11日(土) 午後 ②{グループワーク形式} 調整中(2020年2月または3月)
会場	①{シンポジウム形式} たましんリスルホール小ホール ②{グループワーク形式} 調整中(市役所 302 会議室予定)
内容 (予定)	テーマ: 調整中 講師: 調整中
実施	立川市・立川市医師会 (立川市医師会への委託事業) (協力)立川市地域包括支援センター・福祉相談センター ファイザー株式会社

立川市 看取りに関する多職種研修 在宅療養実践講座(6回コース)	
目的	多職種が互いの制度や知識を理解し、課題について共通認識を深め、多職種が連携したサービス提供をスムーズに行えるようになる
日時	令和元年9月以降 平日 19:00~20:30 (全6回 調整中)
会場	市役所 101 会議室予定
内容 (予定)	①嚥下、オーラルケア ②看取りについて ③モルヒネの使い方など手技について ④リハビリについて ⑤家族支援・死後事務・グリーフケアについて ⑥入退院支援について
実施	立川市・立川市医師会 (立川市医師会への委託事業)

報告事項④

広報たちかわ 10月10日号掲載予定	
特集号	在宅医療・介護連携の特集ページ(1年に1回)
内容	<p>イベント周知 ・市民向け 医療について学べる講座 (災害医療センター、立川病院ほか)</p> <p>* その他主な掲載内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命の延伸のために(健康体操普及活動、フレイル予防など) ・介護保険、高齢者サービスに関する問い合わせ窓口の紹介 ・市の高齢者支援制度について紹介 ・認知症対策支援事業の紹介 ・立川市出張暮らしの保健室のPR記事の掲載
発行 時期の 予定	<p>掲載は、令和元年10月10日を予定しております。 年度後半に実施予定の講座など、広報で市民にPRしたい内容を、 委員各位は8月26日(火)までにお知らせくださいますよう お願いいたします。</p> <p>宛先:立川市在宅医療・介護連携事務局 立川市高齢福祉課介護予防推進係 042-523-2111 内線 1472 杉山・久野 FAX)042-522-2481</p> <p>kourei-t@city.tachikawa.lg.jp</p>

報告事項⑤

在宅医療・介護連携推進協議会の委員任期について	
状況	立川市在宅医療・介護連携推進協議会の委員の任期は要綱により2年間とし、再任は妨げないこととしている。 今年度は改訂年度であるため、委員のうち市民委員については、市民委員募集選考要綱第6条に基づき、市民委員の選考を実施する。
市民委員募集内容	①在宅で介護保険サービスを利用しており、平日午後の会議に出席できる方(1名) ②介護保険サービスを利用している方の在宅介護経験があり平日午後の会議に出席できる方(1名)
市民委員選考方法と日程	8/23 第2回協議会にて、全委員と事務局で、現委員の任期と新委員の選出方法等について確認 8/25 広報たちかわにて市民委員を募集 住所・氏名・年齢・性別・電話番号・応募項目と「在宅医療と介護の連携」についての意見(1200字以内)を書いて、市役所高齢福祉課へ郵送または直送 9/13 募集締め切り→作文審査→市民委員選考委員会にて決定 10/1 新委員着任(任期:2019/10/1～2021/9/30) 11/29 委嘱状交付
他の委員の選任について	a)地域医療・保健に係る事業に従事する者(4人以内) b)介護保険事業に係る事業に従事する者(3人) c)地域医療及び在宅介護に係る学識経験者(1人) d)地域医療・保健に係る行政職員(1人) e)基幹型地域包括支援センターの職員(1人) 上記 a)～e)の各委員については、事務局から関係団体へ推薦を依頼し団体(例:立川市医師会)から推薦してもらう。 8/25 市が各団体へ推薦を依頼 10/1 新委員委嘱(任期:2019/10/1～2021/9/30) 11/29 委嘱状交付

協議事項

”看取るまでと看取った後の家族への支援”について	
目的	<p>立川市内で</p> <p>「今、介護をしている家族が、この先も前向きに患者の在宅療養を支えられるように」</p> <p>「介護を終えた家族が、環境の変化に対応し自分自身の生活再建を果たせるように」を</p> <p>念頭に置き、家族に対する適切な支援について検討する</p>
方法	<p>第1回(5/24) 委員からの課題表出</p> <p>①家族自身が負担に思っていること</p> <p>②委員がそれぞれの視点で「家族への支援が足りていない」と思うこと</p> <p>③「専門職が工夫できるのではないか」と思うこと</p>
課題	<p><u>議事録より</u></p> <p>①家族自身が負担に思っていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(患者の)最期がどうなるのか想像できず不安を感じる (状態が変化した場合やいざという時に、入院できるのか) ・急な受診の際に付き添えない(認認・老老・障認介護、就労など) ・看取り時期は、家族も疲労が重なり神経が高ぶる、夫婦喧嘩もおこる ・看取り後の喪失感の大きさ <p>②委員がそれぞれの視点で「家族への支援が足りていない」と思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病状の説明が十分ではない(今後どのように状態が変化するのか、の説明を家族が理解できていないのに説明を終えていることがある) ・看取り時期にも、家族はやむを得ない外出の機会があるが、不在に対応できるサービスが不足している ・レスパイト先・家族が困ったときの受け入れ先が不足している ・グリーンケアが不足している (そもそもグリーンケアを誰が主体になって行うか) (専門職も、グリーンケアを正しく理解していない場合がある) (利用者が死去しサービスは終了して、遺族と話す機会がない) (立川にあるグリーンケアの団体の周知がない) ・インフォーマルな社会資源の情報不足している ・看取りを終えた家族の活躍の場(市民講座で体験を語るなど)があるといい ・寄り添ってくれる人(ボランティア)の存在(本人に寄り添う人も足りないが家族に寄り添う人も足りない)が不足している

③「専門職が工夫できるのではないか」と思うこと

- ・看取りに至る前の安心安全な医療提供体制の提供
(立川市以外からの訪問診療で、災害時等に対応が受けられず
体調悪化のリスクが高くなる 緊急対応が望めない状況に対して)
→専門職の研修の際などに、医療機関の選択に資する観点を
情報提供する
- ・医療者が一方的に「介護力がない」と判断し転院や施設に繋げている
→判断や意思決定支援をコメディカル全員で担当する
- ・本人や家族の意思と専門職の意向にギャップがないかの判断をする
→ギャップを見つけやすい職種・情報共有しやすい職種が
多職種間の情報共有を促進していく
- ・ボランティアの育成(本人や家族の心の痛みに寄り添う専門職)
→まずは医療・介護の専門職がボランティア養成する。ボランティア
はカンファレンスに参加し多職種に患者の側面情報を伝える
- ・退院支援や意思決定支援のサポートを、コメディカル一体となって行う
→療養生活をイメージしてもらうよう努める
- ・死への流れ・変化のイメージがつくような説明を行う(必要時は複数回)
→初めての説明では”積極的治療を終える”ことを家族が受け入れ
られないこともある
→変化のイメージが、1回の説明では想像できないこともあり、その
場では理解したように感じられても家族が覚えていられないこと
もある
- ・療養の場として、家族が在宅以外を選ぶことに罪悪感を持たないような
説明の工夫
→在宅を選ばなくてはならないような重圧感を与えない
- ・多職種がお互いの専門性を尊重している態度を家族の前で示す
→本人と家族に安心感を与える
- ・専門職が、介護する家族のはけ口となる
→レスパイト先が確保できない・サービス受入が難しい場合もある
- ・家族が仕事をやめようとするのを、専門職がとめる
→復職が困難であることを説明し、離職ではなく休暇取得などを
すすめる、相談窓口を提示する
- ・急な対応がありうることを想定し、リスク管理として事前に対応を
話し合っておく
- ・病院側の本人や家族の見立て(病状や予後の理解、在宅の生活環境、
今後の方向性)と在宅での本人の見立てに相違があった
→多職種も役割が違うゆえに把握の違いがあることを認識し、
相手の立場を想像して、本人・家族双方に望ましい状況にする

協議事項

”看取るまでと看取った後の家族への支援”について	
第2回 (8/23) 協議の 具体的 方法	市内のケアマネにアンケート調査した結果について、 何が要因でそのようなことが起きているのかを状況分析し、 解消するためにはどうしたら良いのかを協議する

《在宅で看取りをおこなう家族の介護に関するアンケート》 集計結果

立川市在宅医療・介護連携推進協議会

1、 下記①～③に回答をお願いします(回答数 58名)

①あなたが現在所属されている事業所には、ケアマネジャーが何名 在籍していますか？	常勤	名	常勤以外	名
②あなたご自身の、ケアマネの経験年数は何年ですか？	3年未満 11名	5年未満 11名	10年未満 14名	10年以上 22名
③あなたが今までに、ケアマネとして利用者本人を在宅で看取った 件数は何件ですか？(現在の事業所以外に所属していた期間も 含む)	0件 10名	3件未満 9名	10件未満 25名	10件以上 14名

2、 在宅で看取りを行う場合、看取った後に、家族にはどんな支援が必要ですか？

あなたの考えにあてはまるものに○をつけてください(複数回答可)。

支援項目の例	○と回答した人数	上位5位 ★
・看取りに至る前の安心安全な医療体制の提供に関する案内	46/58	★ 2位
・医師からの、予後の予測など病状についての丁寧な説明	53/58	★ 1位
・丁寧な退院支援(在宅療養生活がイメージできるようコメディカル全員が支援)	41/58	★ 4位
・経済的支援(家族慰労金)	16/58	14位
・家族が不在の際に使える見守りサービスの紹介	30/58	8位
・家族会の案内やピアカウンセリングの紹介	23/58	10位
・レスパイト先(ショートステイ、入院等)の紹介	45/58	★ 3位
・地域のインフォーマルな資源情報の紹介	21/58	12位
・ボランティアなど、寄り添ってくれる人の紹介	18/58	13位
・療養生活中の変化(死への変化イメージ)への繰り返しの説明	36/58	★ 5位
・在宅療養以外の選択肢に罪悪感を持たないような説明の実施	31/58	6位
・多職種がお互いを尊重している態度を、本人・家族の前で示すこと	31/58	6位
・家族が介護離職をしようとしていたら休職等をすすめ、相談窓口を紹介	22/58	11位
・グリーフケア(ケアマネ自らが行う、立川にある団体等を紹介する、など)	25/58	9位
・生活再建(復職や再就労、ボランティアなど)の相談窓口の紹介	16/58	14位
・デスカンファレンスへの、家族としての参加の促し	14/58	16位
・看取りの体験談を演者として発表できるような場所の紹介	13/58	17位
・その他(自由記載)		

協議事項：“看取るまでと看取った後の家族への支援”に関する状況分析・協議

この用紙は、協議会終了後に事務局へご提出いただきます。お入り用の場合はコピーをとりお渡しいたしますので、当日お申し出ください。

在宅療養者を自宅で介護している家族や介護を終えた家族への支援として、ケアマネへのアンケート結果を各委員それぞれの視点で要因を分析し、支援の実現のために何ができるか、について協議いただきます。以下にご意見等をご記載ください。

参考：家族への支援として必要と思われる内容 上位5位

- ①医師からの、予後の予測など病状についての丁寧な説明
- ②看取りに至る前の安心安全な医療体制の提供に関する案内
- ③レスパイト先（ショートステイ、入院等）の紹介
- ④丁寧な退院支援（療養生活がイメージできるようコメディカル全員で支援）
- ⑤療養生活中の変化（死への変化イメージ）の繰り返しの説明

記載欄